

## 1 学校長あいさつ

校長 渡部朋史

“地域の方々の協働体制”。

他校ではまねしたくてもまねができない強固な地域の協力体制ができていることが、猪苗代高校の自慢の一つです。特に、本校の特色である地域探究「猪苗代学」では、毎週、沢山の皆様に学校に足を運んでいただき、生徒たちが、地域・社会の課題解決に向けて様々な取組を行う支援をしていただいています。

これらの教育活動を通して育成したい生徒の姿は、地域を愛し、地域・社会の課題解決に向け取り組む生徒です。今年も教職員一体となって教育活動を展開していきます。これからも、皆様からのご支援ご協力をお願いいたします。

### 目指す生徒像

地域を愛し、地域・社会の課題解決に向け取り組む生徒

- 広い視野を持ち、思考・判断・表現できる生徒（英知）
- 目標に向かい、主体的に粘り強く取り組む生徒（忍耐）
- 他や地域のために、労をいとわない生徒（勤労）

## 2 生徒数 令和4年度 5月1日現在

学年	1年	2年	3年	計
	1組	1組	1組	
男	13	9	16	38
女	8	8	5	21
計	21	17	21	59

令和4年度から、各学年普通科1学級となりました。全校生一丸となって、様々な教育活動に全力で取り組んでいきたいと思ひます。

## 3 防災・減災教育一日目（1学年）

6月2日、3日の2日間、国立磐梯青少年交流の家で、防災・減災教育の合宿が行われました。コロナ禍ということもあり、宿泊を伴った開催とはいきませんでした。普段の学校生活では体験することができない防災や減災へ向けた実習を行うことができました。

一日目は、私たち1年生はロープワーク、HUG 訓練を行いました。ロープワークでは、自衛隊の方々に様々なロープの結び方を教えていただきました。その教えていただいた結び方を用い、川で溺れている人を想定した救助訓練をしました。結び方が複雑なものが多く、難しかったです。

午後は HUG 訓練を行いました。HUG とは HINANJYO (避難所)、UNEI (運営)、GAME の頭文字を組み合わせたものです。災害が発生した場合の避難所を運営することで、災害時の課題を再認識することができました。チームワークの難しさや、急にやってくる問題に対応できず苦労しました。





## 4 防災・減災教育2日目（2学年）

2日目は全学年混合の縦割り班で、DIG 訓練、飯盒炊飯、大竹力さんの話を聞くなどの活動を行いました。DIG 訓練では、猪苗代町のハザードマップを参考にして危険な箇所などを班で紙にまとめて発表しました。自分達の住む地域を改めて見つめ直すことができました。

飯盒炊飯は班で協力して米を炊いたり、BBQ をしたりしました。天候が悪くなり、雷やひょうが降ってきましたがとても楽しかったです。

大竹力さんには、登山の極意を教えてくださいました。



↑ DIG 訓練の様子



↑ 飯盒炊飯の様子



↑ 大竹力さんのお話

QRコードを読み込めば防災・減災教室の活動写真がご覧になれます。

(公開は7月31日まで)

1日目の様子



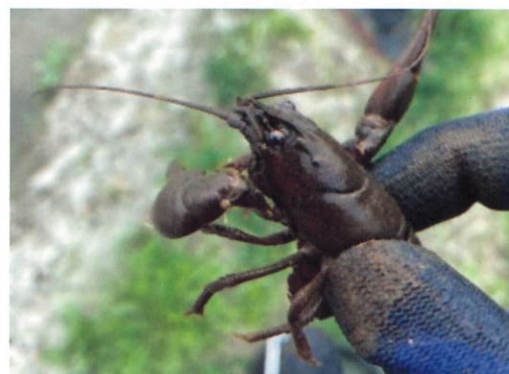
2日目の様子



## 5 地域探究学習（3学年）

今年で3年目の地域探究学習活動を行う私達は、個々の目標達成に向けて活動しています。

その一つに田んぼや在来種に被害を与えている外来種、ウチダザリガニの駆除を目的にした活動があります。ジオパークの方々や、G-men'sの方々に協力していただき、ウチダザリガニが住み着いている分布図の作成やウチダザリガニを使った料理、肥料の開発を目指して活動しています。また、憩いの場づくりや猪苗代湖のヒシ問題など様々なジャンルの地域開発をしています。



## 6 生徒会から見た猪苗代高校



1年生が入学してからはや3ヵ月が経ち、学校生活にも慣れてきたようです。月、水、金曜日は毎朝生徒会のメンバーで伝統のあいさつ運動をしています。入学当初は皆さん緊張していましたが、最近は元気よく笑顔で返してくれるようになりました。

2年生は地域探究に力を入れています。イベント班は、夏休みに小中学生を楽しませるためのイベントを企画しています。イート班は猪苗代特産のブルーベリーを使った食の提供を企画しています。

また、より多くの方々に猪苗代高校を知っていただけるよう公式 Twitter (@inako\_tan9) を開設しました。

発行者 猪苗代高校活性化委員会

会長 前後 公（猪苗代町長）

編集 福島県立猪苗代高等学校

生徒会出版委員会

（生徒たちが作成編集しています）

電話 0242-62-3125 ホームページ <https://inawashiro-h.fcs.ed.jp/>